

みやぎのだより

No. 108

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

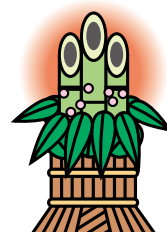
平成31年1月28日



青年部仙南支部視察研修会

CONTENTS

新年のご挨拶.....	1	酪農技術シリーズ⑮	7
青年部仙南支部視察研修会	3	粗飼料情勢.....	9
青年部仙台支部視察研修会.....	3	平成30年度 生乳生産実績.....	10
全国酪農民総決起大会	4	理事会通信.....	10
酪農フレンズパーティー.....	4	売りたい、買いたい.....	11
ミルクキャンペーンキャラクター選考会	5	組合員資格の確認について(お願い)	11
牛乳・乳製品料理コンクール東北大会	5	編集後記	11
牛群検定～優良事例紹介～Vol.12	6		



新年のご挨拶



みやぎの酪農農業協同組合
代表理事組合長

伊藤 一成

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、ご家族お揃いで平成最後の新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より組合運営に対する温かいご支援とご協力を賜わり厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内情勢では、半世紀に亘り国内酪農の基幹制度でありました不足払法が廃止になり、4月から新たな畜安法へ移行されました。この新しい補給金制度の下で、制度改正初年度ということもあり、基本的に大きな変化や混乱もなく、安堵していた一方で、夏から秋にかけて自然災害が日本列島を襲い、酪農にも甚大な被害がでました。特に北海道胆振東部地震により、北海道から都府県への生乳移出量が幾度も制限され、一時的に飲用牛乳の品切れ等が発生する事態を招き、課題として明らかになったのは、北海道と都府県のバランスを保った生産に加え、国産乳製品の需給に見合った供給体制が必要であるということでもあります。

国際情勢では、米中など世界で保護主義的な動きが加速して混迷度が増し、国際情勢が見通せない中、TPP11が昨年12月30日に発効され、日欧EPAについては本年2月1日の発効が見込まれ、加えて日米TAG交渉の行方も懸念されております。また、先述のとおり昨年は非常に農業災害の多い年でもあり、食料の多くを海外に依存する我が国としては、改めて食料安全保障の重要性を認識した一年であり、加えて、経営環境の変化が酪農家の生産性向上の努力を超えるスピードで進んでいることを改めて実感した一年でもありました。

我が国酪農は、安全で良質な生乳を消費者の皆さまに安定的に供給することのみならず、地域経済の維持・活性化、地域環境保全などの多面的な機能を通じて重要な役割を果たしており、また、安全・安心な牛乳乳製品を安定的に供給するためには、必要なコストを反映した適正な価格形成の構築することなどで、危機的状況に陥っている国内の酪農生産基盤を強化することが必要となっております。



本年は、その多面的機能を堅持する一方で、活発なる農業協同組合活動を通じ、酪農専門農協の本質的な役割と経営理念に基づき「酪農家の経営をいかに支え、地域酪農の振興をいかに図るか」を念頭に、これまで以上に意欲をもって営農できるよう組合員の皆さまと向き合いながら、良質なサービスを低コストで提供するなど、満足いただける組合運営を目指してまいりたいと考えております。

また、新しい補給金制度の二年目を迎えますが、酪農経営の安定のためには、酪農家が散佚せずに、指定団体を通じた一元集荷多元販売機能を強化することで、生乳取引の交渉力強化と合理的な生乳取引を実現し、広域的な生乳供給がなされることが最も重要であると考えます。

引き続き、組合員の皆さまに選ばれる組織であるため、生乳の有利・安定販売や生乳流通体制の合理化などによる酪農所得向上に最大限取り組み、そのためにも生乳共販体制の強化を図り、系統組織一丸となって酪農振興に邁進してまいります。

本年もさまざまな課題は山積していますが、環境の変化に柔軟に対応しながら課題の解決に全力投球してまいりますので、組合員の皆さまにはこれまでも増して、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、新しい年が皆さまにとりまして、限りない幸せと健やかな毎日でありますよう心から祈念して新年のごあいさつといたします。

青年部仙南支部視察研修会

指導課

11月6日(火)に山形県米沢市にある「株式会社ビッグフィールド」にて青年部仙南支部の視察研修会を開催しました。

株式会社ビッグフィールドは畜産クラスター事業を活用し1,500頭の牛舎と関連施設を建設され、10月末から事業を開始しました。代表取締役 太田源一氏から規模拡大の取り組み・経営の特徴を説明していただきました。また、常務取締役 太田智彦氏からは施設内を案内していただき、先進的な酪農施設での飼養管理、従業員の意思疎通や業務引継、規模拡大による地域農業との連携、近隣住民の理解の得方など、参加者は熱心に質問されており有意義な研修会となりました。



青年部仙台支部視察研修会

指導課

11月30日(金)に、鳴子支部上原地区の片倉牧場と佐々木牧場にて視察研修会を開催しました。

片倉牧場(片倉 正人氏)は、昨年7月に40頭の搾乳牛舎を新築されました。豪雪に耐えられるよう設計された搾乳牛舎には、最新の機器が導入され省力化が図られた施設となっております。次ぎに視察した佐々木牧場(佐々木 純氏)は、キング式の牛舎に自動給餌機が導入された施設に、ホルスタインのレッド種が30頭飼養されており、牛舎内がとても明るく感じました。また、佐々木牧場では牧草地の管理を徹底しており、雑草対策や施肥管理の重要性についての説明も受けました。

当日は、青年部本部の野村部長にも同行していただき、上原酪農組合独自ブランドの取り組みやPR活動の説明を受け、参加した部員は熱心に質問するなど大変有意義な視察研修会となりました。



全国酪農民総決起大会

日本酪農政治連盟宮城県支部連合会

日本酪農政治連盟は11月14日、東京の自由民主党本部において、「家族型酪農危機突破！全国酪農民総決起大会」を開催されました。全国から700人を超す酪農家・関係団体が集まり、営農意欲と担い手確保を促す飲用向け乳価と加工補給金単価の実現の他、頻発する自然災害対策の継続と拡充など5項目を決議しました。

酪政連の大槻和夫委員長は「食べていけるだけでは後継者は継がない。儲かる、興味がある、楽しい部分を取り入れていかないといけない」と挨拶で述べました。

大会終了後には参加者が自民党本部から霞ヶ関の官庁街を抜けて日比谷公園まで、酪農の窮状を訴えてデモ行進を行い、当会から須藤会長、山家副会長、伊藤委員(みやぎの酪農組合長)をはじめ7名が参加しました。



酪農フレンズパーティー

指導課

12月2日(日)仙台市勝山館スカーレットプラザにおいて、酪農に携わる独身男性と、酪農に興味・関心のある一般女性が集う「第14回酪農フレンズパーティー」を開催しました。

今回の酪農フレンズパーティーも定員を上回る参加申し込みがあり、男性18名と女性22名が、自己紹介から始まり、限られた時間の中で緊張しながらもお互いに自己アピールをしました。フリータイムでは、男性が女性に食事を取り分けてあげるなど、微笑ましい光景があり楽しい時間を過ごせたと思います。現在、大変厳しい酪農情勢ですが、酪農後継者が酪農を続けていくためにも素晴らしいパートナーと出逢い、励みのある明るい将来を育んでいけるよう願っています。



ミルクキャンペーンキャラクター選考会

宮城県牛乳普及協会

11月3日(土)にエスパル仙台にて、ミルクキャンペーンキャラクター選考会を開催しました。

応募総数47名の中から書類審査にて選出された10名のうち、栄えある2019年度・2020年度ミルクキャンペーンキャラクターに選ばれたのは、「阿部柚衣さん」と「鮎井千晃さん」です。お二人には、来年度から県内のイベントに参加し、牛乳・乳製品のPRを行っていただくようになります。

また、消費拡大の一環として牛乳試飲も同時に実施し、10時から15時までに約700名のお客様に宮城県産牛乳の試飲とオリジナルエコバック、パンフレットの配布を行いました。

今後とも新ミルクレディーと共に、消費者の皆さんの牛乳・乳製品に対する意識向上を図れるよう、なお一層の普及活動を行って参ります。



牛乳・乳製品料理コンクール東北大会

宮城県牛乳普及協会

今年度で2回目となる「牛乳・乳製品料理コンクール東北大会」が11月10日(土)に仙台市の宮城調理製菓専門学校において開催されました。東北5県の最優秀賞、優秀賞に選ばれた各県の代表2名の計10名で行われ、どのレシピも牛乳・乳製品をたくさん使っていて、各県の代表ともあり、レベルの高い素晴らしい作品でした。

宮城県代表から小野寺彩さんの「米粉抹茶グラタン」と鈴木いく子さんの「滋養たっぷり白マーボー茄子」が出場しました。

栄えある最優秀賞に選ばれたのは、加藤輝さん(岩手県)の「ミルクたっぷり乳なべやき」。優秀賞は、山本りささん(山形県)の「丸ごと完食。白い芋煮?！のパングラタン」と若林歌音さん(福島県)の「カフェオレゆべし」。審査員特別賞は、谷あずささん(秋田県)の「秋田県産枝豆のキッシュ」でした。

今回出場された方のレシピについては、今大会の特設サイト「とうほくミルクレストラン」に掲載されておりますのでぜひご覧下さい。

URL <https://tohoku-milk.jp/>



さいとう農場（さいとうのうじょう）

●牧場の概要（平成30年12月現在）

- *所在地：遠田郡涌谷町 *代表 齋藤常雄氏
- *飼養頭数：57頭（経産牛44頭、育成牛13頭）
- *年間出荷乳量：約400t
- *補正乳量：約10,200kg／頭
- *飼料作付面積：飼料用トウモロコシ 7ha、稲WCS 1ha、
イタリアンライグラス 7ha



さいとう農場の皆さん

●牧場のこだわり

①自給粗飼料生産

町内の畜産農家5戸と共同で、涌谷町飼料増産組合を結成しており、自給粗飼料生産に力をいれています。機械の共同購入、共同利用を行う他、県内畜産農家の飼料作物収穫作業も請負い、地域の仲間と協力しながら、コスト及び労力軽減に向けて取り組んでいます。

②牛群検定の活用

自給飼料の利用割合が高いので、牛群検定成績を毎月チェックし、乳質改善に役立てています。特に体細胞数と乳成分には注意しています。

③環境保全型農業

水稻を10ha作付けており、稲わらや籾殻を副資材に堆肥の発酵処理を行い、周辺農家に良質な堆肥を販売し、地域で環境保全型農業を実践しています。

④繁殖管理

性判別精液を使用して、優良雌牛牛群の確保、効率的な後継牛の確保に努めています。また、黒毛和種の受精卵移植も行い、生まれた子牛は約2ヶ月齢で販売し、収益性の高い経営を実践しています。

●牛群検定の活用方法

①体細胞数

体細胞数の高い個体を把握し、治療や淘汰の判断材料の一つとしています。

②乳量・乳質

個体毎の乳量および乳質の把握をすることができるので、牛の健康状態の確認や飼料給与量及び内容の調整に活かしています。特に個体管理のP/F値は、適正值である0.7以上1.0未満の範囲内であるか、またそれが増減した場合、障害が出ていないかを早急に確認しています。



後継者の齋藤常浩さん

●牧場から一言

牛群検定は、牛群の成績を把握する重要なツールの一つです。個体毎の数多くの情報を得ることができ、またその個体情報から反映された牛群データを経営に活かしています。

今後も牛群検定を活用して、循環型農業を実践しながら、酪農部門では長命連産、「農場から出ていく牛は、自分の足で歩いて出て行く」ことを心がけ、牛を丁寧に飼養していきたいと考えています。

〔文責：美里農業改良普及センター 伊藤〕

牛群検定には6ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

- | | | |
|--------------|---------------------|------------------|
| ・宮城県ホルスタイン協会 | 〔（一社）宮城県畜産協会内〕 | TEL：022-298-9750 |
| ・県南乳用牛群改良組合 | 〔（一社）宮城県畜産協会仙南事業所内〕 | TEL：0224-52-2523 |
| ・県北乳用牛群改良組合 | 〔（一社）宮城県畜産協会中央事業所内〕 | TEL：0229-34-3304 |

いつもお世話になっております。今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

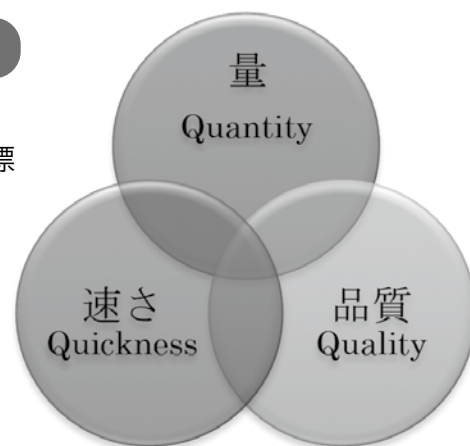
今回は初乳の衛生を中心にお話しさせて頂きたいと思います。初乳には新生子牛にとって必要不可欠な要素（栄養成分・免疫要因・成長要因）が含まれており、その後の発育を決める非常に重要なものです。初乳の話は聞き飽きた！とおっしゃらず、ご一読頂けましたら幸いです。

1. おさらい

初乳管理の3つのQ

初乳の管理では下記の3点が重要です

- ① 速さ：初回給与は可能な限り早く、初回は生後6時間以内が目標
Quickness
- ② 量：生後12時間以内に4リットル
（その後2リットル飲ませ、24時間以内に計6リットル）
Quantity
- ③ 品質：IgGが50g／リットル以上
Quality



なるべく早く（速さ）、良質な初乳を（品質）、十分量（量）の飲ませることが大切です

速さと量は分かりやすいですが、品質はどうでしょうか？初乳に含まれる免疫グロブリン量を簡易的に計測する場合、比重計や糖度計を用いた方法があります。また、親牛が下記の条件に当てはまる場合、初乳の品質が低下しているかもしれません。ご参考下さい。

- * 乳房炎罹患や重度の血乳
- * 分娩前からの漏乳
- * 乾乳期間が短い（42日未満）
- * 初産牛（薄い）
- * 分娩前の過肥や暑熱ストレス（夏分娩）や代謝性疾患（ケトーシスなど）
- * 分娩間際の導入（輸送や環境変化によるストレス）
- * 感染経験のない病原体への免疫抗体を持たない（例：毒素原性大腸菌）
- * 第1回目の搾乳で8.5Kg以上泌乳した場合（薄くなる）

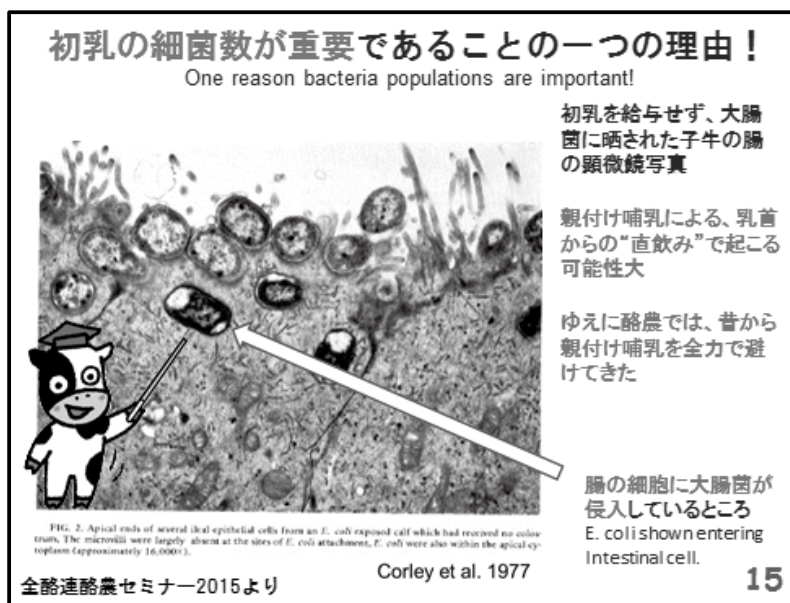
※初乳の品質が不十分な場合、初乳の代替として代用初乳製品を利用することをおススメします



2. 初乳の衛生について

さて、今まで初乳管理について触れてきましたが、初乳の衛生についてはどうでしょうか。せっかく良質な初乳を手に入れても、給与するまでに細菌に汚染されてしまっては台無しです。今回は2015年の全酪連 酪農セミナーで取り上げられた内容の一部をご紹介します。

初乳の衛生が重要なわけ

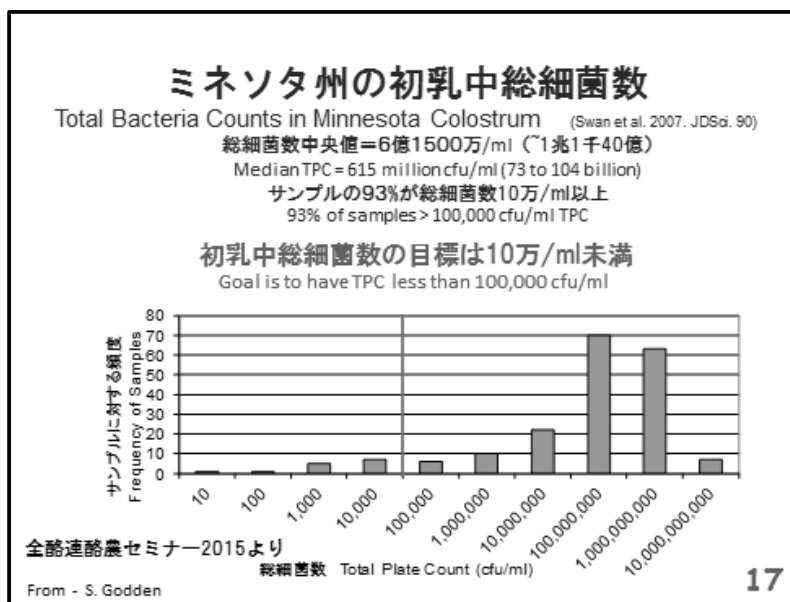


左は子牛の腸壁に大腸菌が侵入している様子です。

初乳が給与されず、細菌にさらされた牛はもちろんですが、細菌で汚染された初乳を給与した場合も、子牛の腸内ではこのようなことが起こり得ます。

だからこそ、初乳の衛生も重要なのです。

意外に多い！？初乳の細菌汚染



左は初乳中の総細菌数を調べた研究結果の一例です。10万/ml未満が目標とされる中、多くが基準を上回っています。

細菌の汚染は搾乳/保管/給与時に見られます。その為、下記にご注意ください。

○ 通常の搾乳前準備を行ってから搾乳をする

保管しておく場合は、短時間での冷却も必要です（出荷する生乳と同等の扱い）

○ 搾乳/保管/給与に関わる機器・道具の洗浄はしっかりと

最後までお付き合い頂き、ありがとうございました。
ご不明な点は全酪連スタッフまでお気軽にご相談下さい

情報提供先・全酪連仙台支所

配合飼料、哺育用代用乳

平成30年度第4四半期の配合飼料価格について、主原料のトウモロコシは豊作の見通しではありますが、収穫時に悪天候であったことからシカゴ相場は若干強含み傾向にあります。大豆は米中の貿易摩擦問題と北米南米とも豊作の見通しから相場は弱含みで推移しております。糟糖類について、グルテンフィードの発生量が減少しており価格は強含みで推移しております。ふすまは小麦粉の値上げ前の需要が増えたことから晩砕が増え需給バランスは緩和されつつあります。

一方、哺育用代用乳については、主産地の豪州での早魃の影響で生乳生産量の減少から供給余力が減少し価格は強含みで推移しております。

為替相場については、米国経済が好調であることから12月の時点で前期より円安基調となっております。

以上のことから第4四半期の配合飼料は500円/トン値上げ、哺育代用乳は21,000円/トンの値上げとなりました。

なお、第3四半期の配合飼料に対して、平均輸入原料価格が基準輸入原料価格を上回ったことから、第2四半期に引続き価格差補てん金が発動される見込みです。

輸入粗飼料

①ビートパルプ

US産

18年産は収穫時の天候不良から収穫作業は例年より1ヶ月遅い11月末までかかりました。早い寒波の到来があり収穫を断念した地域があり、収穫量は当初の見込みより大きく下回る結果となりました。

②アルファルファ

以前、日本向けのアルファルファはPNW港(西海岸北部)からのワシントン産やオレゴン産の割合が80%以上を占めていましたが、最近は海上運賃や価格の面からPSW港(南部)からのカリフォルニア産や、ネバダ産の割合が約45%を占めるようになり需要は様変わりしてきています。

高成分のワシントン産やオレゴン産は米国内からの引き合いが強く余剰在庫も少ないことから今後も価格は堅調に推移すると予想されております。中国では米中の貿易問題から欧州産を輸入していましたが、運賃、価格の高騰があり在庫も無くなってきていることから、米国産に回帰する可能性があります。

③チモシー

(A)US産

1番刈りは良品の発生が少なかったことからすべて売約済となっております。2番刈りについては豪州産のオーツヘイの状況がよくないことから引き合いが強まり価格も強含みで推移すると予想されます。

(B)カナダ産

アルバータ州は早魃により収穫量は減少しております。日本や韓国からの引き合いが強いことや、カナダ国内からの需要が多いことから価格はUS産と同様に強含みで推移すると予想されます。

④豪州産オーツヘイ

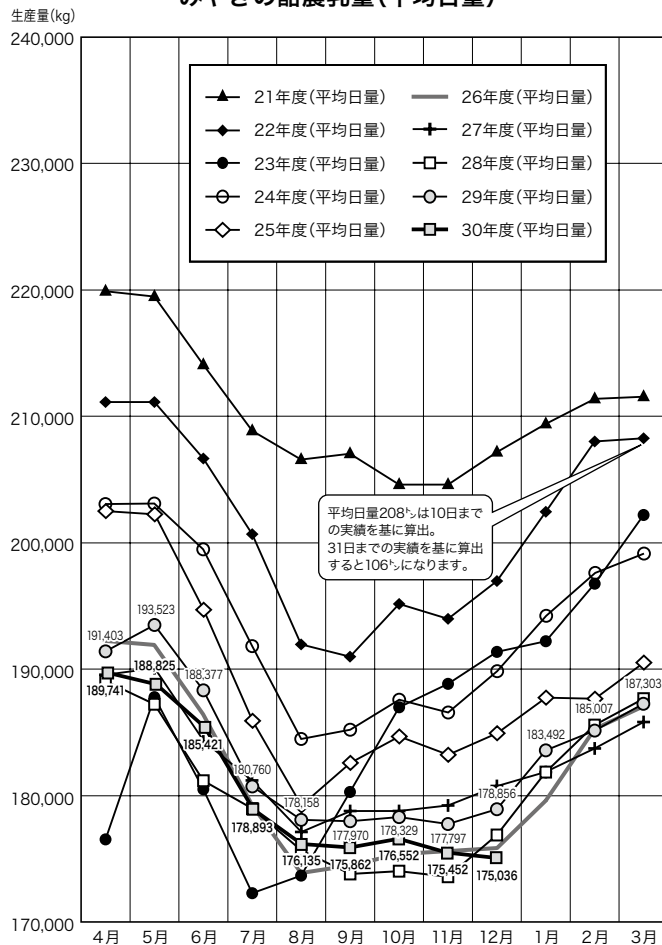
東豪州、南豪州では早魃の影響から収穫量は例年の50%以下となっております。西豪州については収穫時の天候不良で上級品の発生は少なく18年産は中級品から低級品の発生が中心となりました。早魃の影響から豪州国内需要が高まり価格は段階的に大幅に値上がりしております。

以上のような状況の中、安定供給に努めてまいりますので、ご理解いただき引き続きご利用賜いますようお願い申し上げます。

平成30年度 生乳生産実績

販売課

みやぎの酪農乳量(平均日量)



平成30年度生乳生産実績(4月～12月 標準進捗率75.34%)
(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白 石 支 部	22	4,945,765.4	4,938,517.6	100.15	6,564,964.0	75.34
七ヶ宿支 部	5	1,892,830.5	1,838,421.7	102.96	2,480,947.0	76.29
蔵 王 支 部	25	6,324,431.5	6,148,386.2	102.86	8,313,486.0	76.07
柴 田 支 部	17	3,146,336.3	3,134,450.3	100.38	4,167,393.0	75.50
角 田 支 部	7	1,586,821.0	1,656,335.4	95.80	2,200,642.0	72.11
丸 森 支 部	12	2,334,818.2	2,415,284.4	96.67	3,215,480.0	72.61
仙 台 支 部	12	2,812,581.8	2,802,113.3	100.37	3,753,861.0	74.93
名 取 支 部	6	710,414.0	670,140.0	106.01	916,535.0	77.51
黒 川 支 部	6	845,055.0	957,352.0	88.27	1,217,739.0	69.40
大 崎 支 部	19	2,607,817.0	2,618,717.0	99.58	3,497,216.0	74.57
遠 田 支 部	16	4,652,764.0	4,499,333.0	103.41	5,983,151.0	77.76
加 美 支 部	18	2,016,267.0	2,143,017.0	94.09	2,677,853.0	75.29
鳴 子 支 部	12	1,628,385.0	1,626,152.0	100.14	2,191,421.0	74.31
一 迫 支 部	12	2,337,552.0	2,269,118.0	103.02	3,066,957.0	76.22
築 館 支 部	14	1,438,028.0	1,619,232.0	88.81	2,137,794.0	67.27
瀬 峰 支 部	7	864,458.0	972,967.0	88.85	1,276,473.0	67.72
迫 支 部	12	3,187,950.0	3,420,912.0	93.19	4,457,248.0	71.52
中 田 支 部	8	1,182,621.0	1,177,259.0	100.46	1,598,876.0	73.97
東 和 支 部	7	908,845.0	913,770.0	99.46	1,217,732.0	74.63
志 津 川 支 部	9	991,613.0	1,061,902.0	93.38	1,428,906.0	69.40
本 吉 支 部	8	604,023.0	769,096.0	78.54	904,453.0	66.78
石 巻 支 部	6	739,382.0	811,339.0	91.13	1,079,426.0	68.50
豊 里 支 部	12	1,794,214.0	1,800,952.0	99.63	2,398,447.0	74.81
みやぎの酪農	272	49,552,972.7	50,264,766.9	98.58	66,747,000.0	74.24

※出荷戸数については、直近の数字です。

理事会通信

総務課

【第8回理事会】

開 催 日 平成30年11月28日

付議事項 第1号議案 定期賞与(12月期)の支給について

【第9回理事会】

開 催 日 平成30年12月11日

付議事項 第1号議案 平成30年度上半期決算監査にかかる監事監査報告について

第2号議案 総務委員会からの答申について

(役員定数および役員定年制について)

○販売情報○

【稲WCS】

産 地	丸森町
品 種	たちすずか
収穫時期	平成30年10月・11月
サ イ ズ	100×100
個 数	1,200個
価 格	3,000円／個(消費税別)
飼料分析	分析書有り



【初妊牛】

支 部	販 売 者	分 娩 予 定	授 精 種
七ヶ宿	(有)ファームイチカワ	4月25日	乳用種性判別
七ヶ宿	(有)ファームイチカワ	4月29日	乳用種性判別
七ヶ宿	(有)ファームイチカワ	5月11日	乳用種
蔵 王	小島 一也	5月24日	乳用種
白 石	阿部 耕太郎	5月28日	乳用種性判別

※価格など詳細につきましては各所指導係までご連絡ください。

組 合 員 資 格 の 確 認 に つ い て (お 願 い)

組合員資格に変動が生じた場合は、定款の定めるところにより、書面で組合にお届けいただくことになっています。組合員資格に変動があった場合はお手数ですが、最寄りの支所、事業所等へお申し出いただきますようお願いいたします。

※組合員資格の変動は、組合員資格を喪失した場合や、お名前、ご住所の変更等のほか、正組合員から准組合員に、または准組合員から正組合員に資格が変動した場合等が該当します。

[編 集 後 記]

新年明けましておめでとうございます。

今年の干支は亥年、猪突猛進と行きたいところですが、5月には新元号になり、10月は消費増税と何かとイノベーション(大きな変化)がある年になりそうです。本年も「みやぎのだより」を何卒宜しく願ひいたします。

発 行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)

.....